

令和3年度（2021年度）

小平市民活動支援センターあすぴあ

管理運営事業報告



コロナ禍の会議室



ハイブリッドでイベントを実施



令和4年（2022年）5月

小平市民活動支援センターあすぴあ指定管理者
特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク



目 次

事業総括

令和3年度事業計画	2
With コロナ時代の市民活動	4

施設・設備の利用状況

1. 登録団体	5
2. 施設および備品の利用状況	6

事業の実施状況

あすぴあの組織図	9
1. 学習および交流の機会の提供	10
2. 市民活動の裾野の拡大事業 こだいら人財の森	16
3. 市民活動に関する情報の収集および提供	17
4. 問合せ・相談・支援	23
5. 利用者の要望・意見の把握	24
6. 他機関・施設・組織との情報交換やネットワークづくり	27
7. 市外の諸機関との情報交換・交流	28
8. 施設見学の受け入れ等	29
9. 職員・理事・事業部会員の市民活動支援力の向上	29
10. 登録団体一覧	30
11. 経費の収支状況	34

事業総括

前年度からのコロナ禍を経験し、今年度の事業計画は、そのような中でも活動を続けることを支援することに主眼を置きました。

■令和3年度事業計画

方針 I コロナ禍中、あるいはコロナ収束期に必要な支援を行う

- 計画1 コロナ禍における新たな活動の在り方の検討と啓発
- 計画2 オンライン活動への支援
- 計画3 リアル活動（オフライン活動、対面活動）への支援
- 計画4 コロナ禍のもとでの市民活動の調査と支援
- 計画5 新しい団体、活動を広げる団体への支援
- 計画6 SDGs「誰一人取り残さない」を目指す市民活動の推進と支援

方針 II つなぐ役割のさらなる推進

- 計画1 課題解決へ向けた市民活動パワーアップ講座、講演会、参加しやすい市民活動交流サロン等の開催
- 計画2 市民の参画によるオンライン併用の元気村まつりウィークの進展
- 計画3 市民目線に立ったタイムリーな広報、「あすぴあ通信」・あすぴあホームページ・メルマガ等々、あすぴあのさまざまな広報媒体を連携させた広報活動
- 計画4 こだいら人財の森事業の充実と積極的活用推進
- 計画5 市民活動団体データ集『むすぶ』の充実
- 計画6 相談活動の充実
- 計画7 他機関、施設、組織との情報交換、連携を通してのネットワークづくり
- 計画8 中間支援の関連団体、組織との連携
- 計画9 未来を担う世代を含めたネットワークの拡大
- 計画10 あすぴあ事業への市民参画の推進

方針 III 中間支援組織としての基盤整備

- 計画1 施設・設備の効果的運用
- 計画2 来室者の立場に立った心配りで利用者サービスの向上
- 計画3 運営者の支援力向上
- 計画4 多様な危機管理能力の育成
- 計画5 利用者の声を反映した公平な管理運営
- 計画6 活動の地域分散化と積極的に地域に出向く活動の推進
- 計画7 年度後半に「小平市民活動支援センター事業計画」執行状況の評価を行い、評価に基づいて次年度計画を作成する

方針 IV 小川駅西口再開発ビルへの移転を、小平の市民活動を充実・発展させるきっかけとして活用するための方策を検討する

- 計画1 移転への計画的な準備、及び発信

- NPO 法人小平市民活動ネットワークがあすぴあの指定管理者になって 12 年目（指定管理 3 期目の 4 年目）となりました。
- 前年度から続くコロナ禍が 2 年を超えました。今年度の事業計画の筆頭に、コロナ禍中、あるいはコロナ収束期に必要な支援を行うことを掲げ、そのうちの「オンライン活動の支援」としては、Zoom を使えるようになるための支援会を 4 月から定期的に設けました。と同時に、会場参加とオンライン参加の併用（いわゆるハイブリッド式）でイベントを実施することに取り組み、「誰一人取り残さない」ための試みを重ねました。そのための機材も揃えて団体にも貸し出しました。一方で、「リアル活動への支援」として、利用者アンケートで対面活動への要望を聞き取りました。
- 学習の場としては、ウェブ会議アプリ Zoom の講座や動画講座、オンラインでのファシリテーション講座という、時宜にかなった学習会を行うと同時に、団体運営には欠かせない会計・税務講座もオンラインで 2 年ぶりに行いました。一方、団体同士や活動に興味ある個人の交流の機会としては、東京オリンピック・パラリンピックのタイミングで「共に生きる社会」について考える場や、実施した講座のフォローアップ、コロナで閉塞感を感じていた子育て世代が集まる場、地域の支え合いを考える場などを設けました。元気村まつりは、オンラインのみでの開催が 2 年目になり、参加団体も実行委員会メンバーも少し慣れてきました。昨年度のまつりの感想を元に動画作成の講座を企画し、今年度のまつり期間中には交流サロンで「動画を作ってみてどうだったか」を振り返るなど、事業間の連携を図りました。
- 本格稼働して 3 年目の「こだいら人財の森」事業は、交流会なども企画できず、マッチングも思うようにできませんでしたが、若い人の個人登録が見られるようになりました。事業の周知に弾みをつけるため、2022 年 3 月に、事業説明会に落合恵子さんのオンライン講演会を組み込んで開催し、定員 100 名を上回る申込みを得ました。
- 問合せや相談で、昨年多かったズーム関連は少なくなりましたが、今年の特徴は、障がいや高齢などの福祉的な要素が絡む内容が多く寄せられ、元気村の他の施設職員の助けを借り、複合施設のありがたさを痛感した 1 年でした。利用者アンケートでは、コロナ禍のあすぴあの事業やサービスが一定程度評価されていることがわかりました。特に、スタッフの対応に対する満足度が高いことは嬉しいことでした。
- 今年度の事業計画の振り返りを運営会議および職員と共に行い、次年度の計画に反映させました。
- 新型コロナウイルス感染拡大という未知の事態に振り回された昨年度に比べて、今年度は団体の活動がずいぶん活発に行われてきました。とはいえ、未だ休会中の団体や会議室利用が少なくなった団体、あすぴあ利用登録取り下げや「むすぶ」掲載取りやめの連絡も入っています。会員の高齢化問題も加わり、市民活動の風景がコロナ前と同じになることは難しいのではないかと感じます。
- その一方で、市内では、比較的若い世代の方々を中心に、人と人とのつながりをつくる新しい動きも散見されるようになりました。情報のアンテナを広く張り巡らせ、今後も“つなぐ”機能を充実させたいと思います。



With コロナ時代の市民活動

■センターの開館および利用制限の経緯

- 前年度 ～4月26日(月) 夜間休館を延長
4月27日(火)～5月11日(火) 全面休館(緊急事態宣言中)
5月12日(水)～8月22日(日) 日中開館、夜間休館
8月23日(月)～9月30日(木) 同上 *利用制限を一部緩和(貸出備品の制限を元に戻す)
10月1日(金)～緊急事態宣言解除により全面開館 *利用制限を一部緩和(飲食は黙食のみ可)
12月1日(水)～ 現在 *利用制限を一部緩和(ソーシャルディスタンス確保の上で定員を通常に戻す)

■感染防止対策(あすぴあ利用のルール) 但し、途中で一部の制限は緩和されました。

- ・予約時および利用当日に感染防止チェックシートを提出
- ・マスクを必ず着用
- ・会議室の利用人数は定員の半分(15名程度)
- ・貸し出しできない備品があります
- ・事前に体温測定
- ・団体は、感染がわかった場合に備えて参加者の名前と連絡先を記録
- ・人との距離を2m程度保つ
- ・利用の前後にアルコール消毒液で手指を消毒
- ・常に換気、または1時間に1回程度(5分ほど)換気
- ・交流スペースの利用は3密を避ける
- ・長時間の滞在は避ける、人数制限もあり
- ・ドリンクコーナーと図書貸し出しは当面中止
- ・一度手に取ったチラシは戻さず持ち帰る
- ・印刷作業は1～2人で行う
- ・アクリル板の貸し出し



コロナ禍の交流スペース



Zoom 利用支援会

■Zoom 利用支援会の開催

- ・昨年度に複数回開催した Zoom 講座の結果、使い方を教える前に「Zoom アプリのインストールの支援」が必要とわかり、指定管理者の理事有志等による「オンラインサポート研究会」の協力を得て、4月から月に2回定期的に「Zoom アプリ導入支援会」を実施しました。その後、主催の仕方も知りたいという要望に応じて、10月からは「主催の仕方」も同時に支援しました。
- ・対象は、当初は登録団体に限定しましたが、年度半ばからは市民活動情報誌「連」や市報、ホームページに掲載し、また自治会等にチラシを配布して一般市民にも対象を広げました。
- ・その結果、1年間でアプリインストールは19名、主催の仕方は11名をサポートしました。

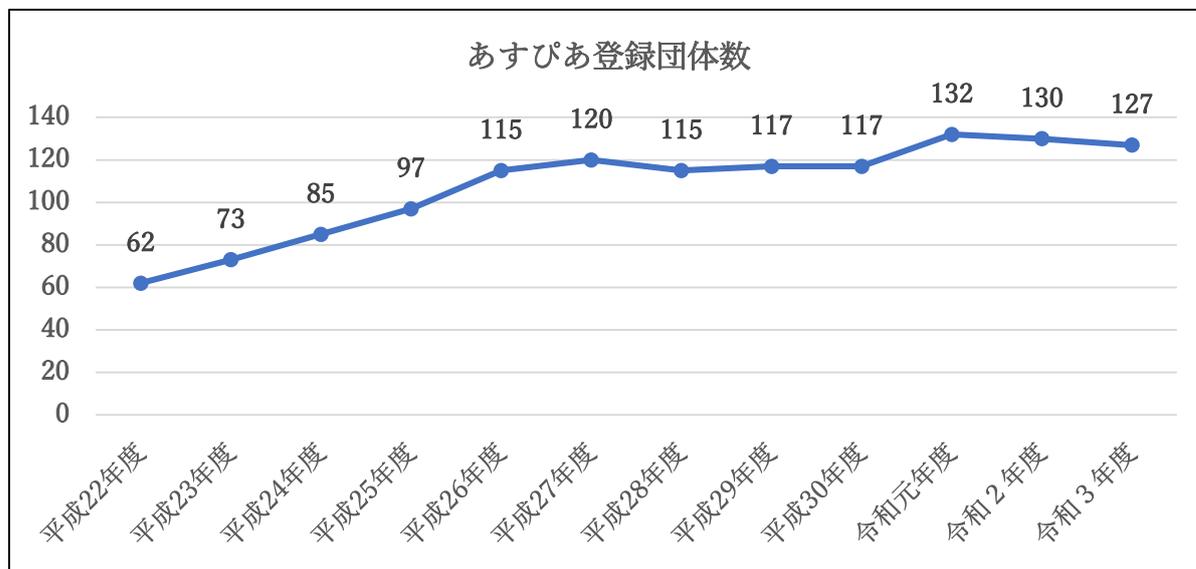
■機材の充実

- ・昨年度導入した「ミーティングオウル」と「大型モニター」の使い方説明会を8月に実施、5団体が参加しました。その後、機材は定期的に利用されています。
- ・今年度は、ハイブリッド式でイベントを開催するために必要な各種機材をさらに充実させました。イベントごとに状況が異なるため、そのたびにリハーサルを重ね、イベント部会員も職員も経験を積んできました。

施設・設備の利用状況

1. 登録団体

2021年度は130団体でスタートし、新規登録10団体増、取り下げ13団体減で、年度末には127団体になりました。



2021年度新規登録団体は以下の10団体です。

- 虹の会
- ウォーキング de ゴミひろい協会
- 一般社団法人ひだまりの会
- ワーカーズコープ小平 JAMキッズ事業所
- 少年少女キャンプ村
- ミュージアム de 散歩
- 一般社団法人早期親子支援 GROW
- NPO 法人 Mystyle@
- 小平東圏域オレンジの会
- IT サポートサークル小平

なお、2022年3月末の登録団体一覧は30～33ページを参照してください。

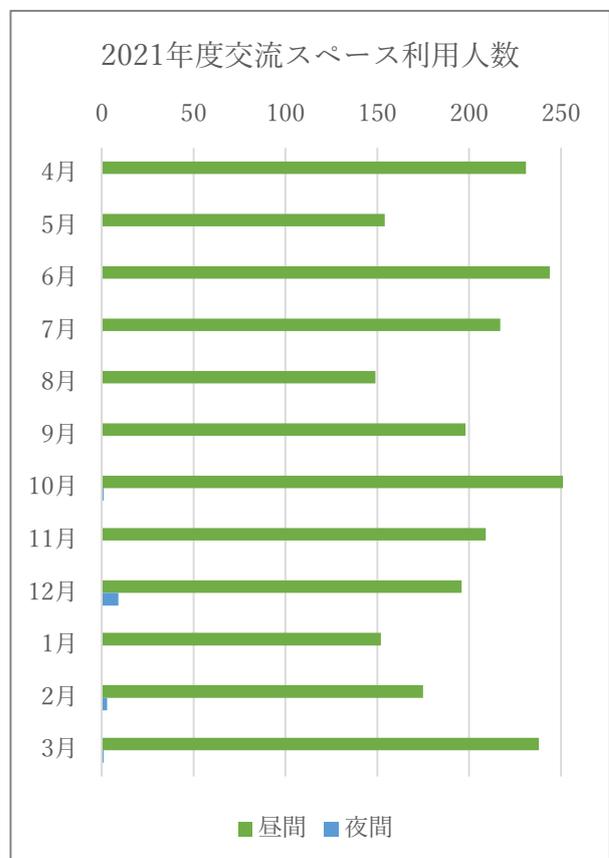
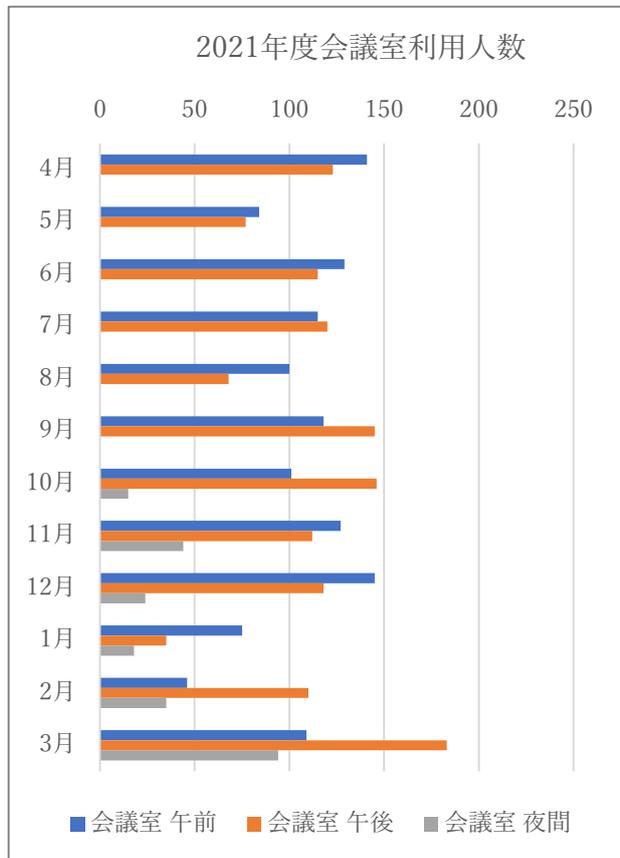
2. 施設および備品の利用状況

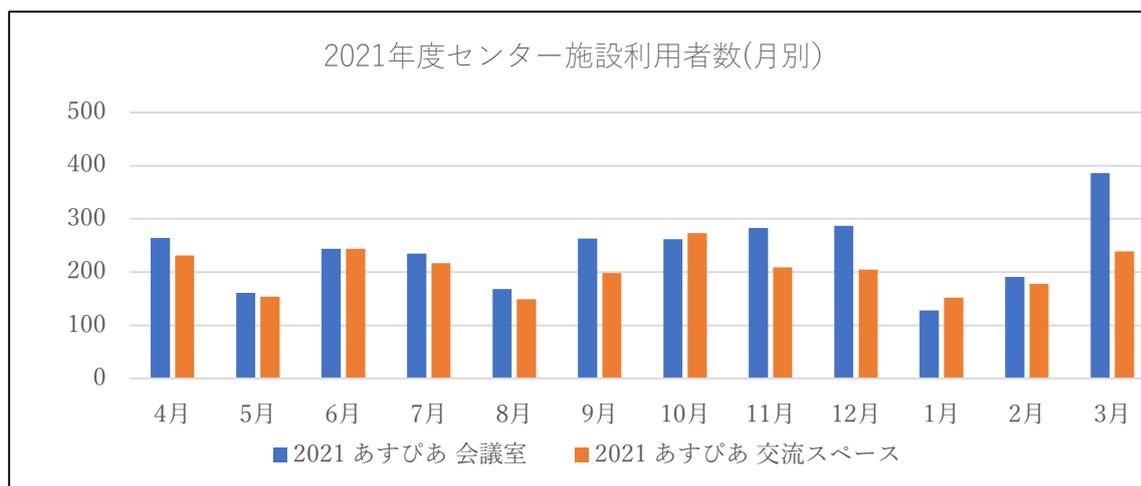
① 会議室&交流スペースの利用状況

年月	開館日数	会議室								交流スペース			合計	会議室利用率・回転率					
		午前		午後		夜間		合計		昼間	夜間	合計		利用率	利用 コマ	開館 コマ数	回転率		
		人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ									人数	人数
2021/04	22	141	17	123	17	0	0	264	34	231	0	231	495	19	22	86.4%	34	66	51.5%
2021/05	17	84	11	77	13	0	0	161	24	154	0	154	315	16	17	94.1%	24	51	47.1%
2021/06	26	129	23	115	20	0	0	244	43	244	0	244	488	24	26	92.3%	43	78	55.1%
2021/07	24	115	17	120	17	0	0	235	34	217	0	217	452	22	24	91.7%	34	72	47.2%
2021/08	25	100	18	68	9	0	0	168	27	149	0	149	317	21	25	84.0%	27	75	36.0%
2021/09	24	118	20	145	21	0	0	263	41	198	0	198	461	23	24	95.8%	41	72	56.9%
2021/10	27	101	22	146	23	15	10	262	55	272	1	273	535	24	27	88.9%	55	81	67.9%
2021/11	22	127	19	112	17	44	5	283	41	209	0	209	492	21	22	95.5%	41	66	62.1%
2021/12	24	145	18	118	15	24	2	287	35	196	9	205	492	21	24	87.5%	35	72	48.6%
2022/01	23	75	14	35	6	18	4	128	24	152	0	152	280	16	23	69.6%	24	69	34.8%
2022/02	22	46	10	110	13	35	4	191	27	175	3	178	369	17	22	77.3%	27	66	40.9%
2022/03	26	109	14	183	23	94	9	386	46	238	1	239	625	24	26	92.3%	46	78	59.0%
合計	282	1,290	203	1,352	194	230	34	2,872	431	2,435	14	2,449	5,321	248	282	87.9%	431	846	50.9%

利用率＝利用日数/開館日数
(注：利用日数：午前、午後、夜間のうち1コマでも利用のあった日数。)

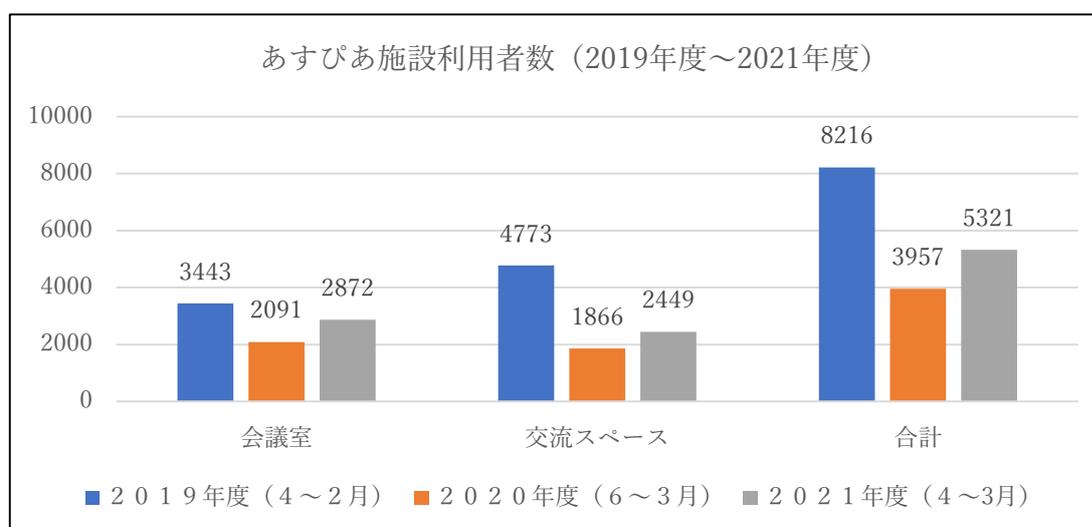
回転率＝利用コマ数/開館コマ数
(注：開館コマ数＝開館日数×3)





〈参考〉2019年度から3年間の比較

	2019 年度			2020 年度			2021 年度		
	会議室	交流	計	会議室	交流	計	会議室	交流	計
4月	307	373	680	0	0	0	264	231	495
5月	257	345	602	0	0	0	161	154	315
6月	356	449	805	152	140	292	244	244	488
7月	336	552	888	188	164	352	235	217	452
8月	302	419	721	160	157	317	168	149	317
9月	324	399	723	227	210	437	263	198	461
10月	421	588	1,009	272	229	501	262	273	535
11月	295	423	718	223	205	428	283	209	492
12月	351	395	746	237	185	422	287	205	492
1月	245	426	671	157	164	321	128	152	280
2月	249	397	646	195	206	401	191	178	369
3月	0	7	7	280	206	486	386	239	625
計	3,443	4,773	8,216	2,091	1,866	3,957	2,872	2,449	5,321



② 機器の利用状況

○**リソグラフ印刷機**：単色印刷の他に、黒・赤・青・緑の4色を組み合わせる多色印刷も可能です。また、パソコンとつないでUSBメモリ内のデータを印刷することもできます。

○**複写機**：事務所用コピー機で、カラー印刷等のサービスを実費負担で提供しています。

○**貸し出しパソコン**：印刷の前に版下原稿を修正できます。

○**ラミネーター**：文房具店よりも安価に使えます。



リソグラフ簡易印刷機



複写機



貸し出しパソコン



ラミネーター

・令和元年度からの3年間を比較すると、新型コロナ感染拡大のため機器の利用が半減した2020年度を経て、2021年度は団体の活動もだいぶ回復してきたことがわかります。

機器	2019年度	2020年度	2021年度	単価など
印刷機	¥93,390	¥42,560	¥63,510	マスター@¥50、印刷代@¥20/100枚 *紙は持ち込み
複写機	¥15,060	¥7,630	¥11,710	白黒@¥10、カラー@¥30(A4、A3共)
貸出パソコン プリンター	¥8,610	¥3,780	¥5,820	A4モノクロ @¥10
ラミネーター	¥3,450	¥135	¥1,755	A3@¥30、A4@¥15

○その他の貸出備品

- ・アクリル板は、あすぴあ会議室だけでなく、元気村館内でも頻繁に利用されました。
- ・昨年度揃えた「ミーティングオウル」「大型モニター」に加えて、Zoom参加と会場参加のハイブリッド式でイベントができるように、マイクやアンプ、外付けカメラ、コード類等の機材を揃えました。



ミーティングオウル



大型モニター



音響機材



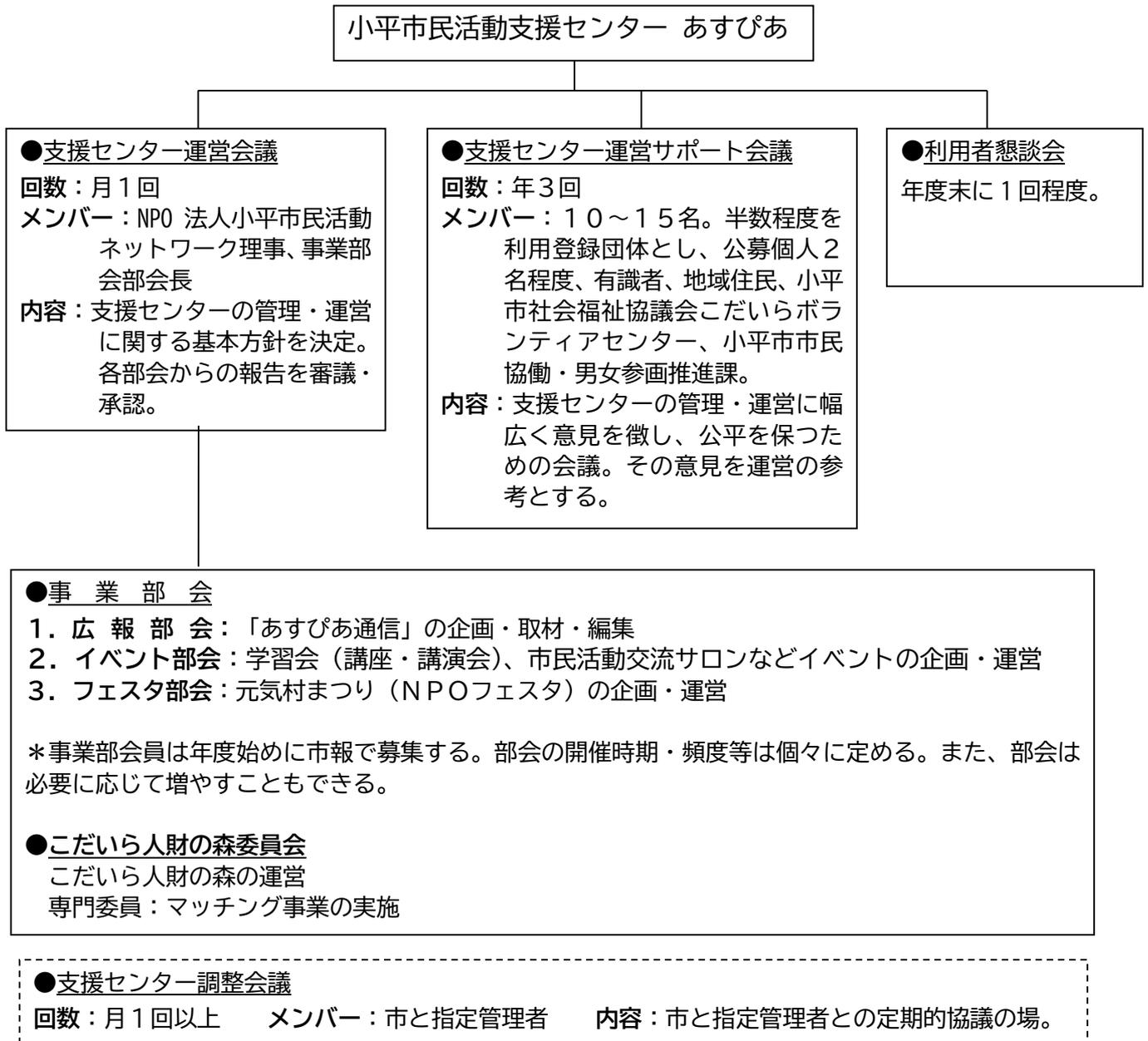
映像機材

事業の実施状況

あすぴあ多くの事業は、市民が参加する3つの事業部会で企画・運営しています。

イベント部会	パワーアップ講座や交流サロンの企画・実施
広報部会	「あすぴあ通信」の取材・編集・発行
フェスタ部会	元気村まつりの運営

あすぴあの組織図



※小平市民活動支援センターあすぴあは、NPO 法人小平市民活動ネットワークが指定管理者となって管理・運営されています。

1. 学習および交流の機会の提供

イベント部会で企画運営を担い、パワーアップ講座を4回、交流サロンを4回実施しました。ハイブリッド開催のために、イベントのたびにリハーサルを行って当日に備えました。

① 学習会（市民活動パワーアップ講座）・講演会の開催

●第1回「楽しいプレゼン動画を作ろう！」

2021年6月12日（土）、19日（土）、26日（土）13:30～15:30 （3回連続）

Zoomで実施 参加者 のべ56人

講師：恵晋一さん（帝京大学非常勤講師、小平 IT 推進市民グループ）

昨年度初のオンラインで実施した元気村まつりで、動画による団体紹介を見た方々から「来年は自分たちも動画で紹介したい」という要望を多くいただいたので、3回にわたりオンラインで開催しました。平均参加者17名と、意欲溢れる講座でした。



人に伝える動画作りの考え方、撮影の初歩的なテクニックなど基本を学び、それからパソコンとスマホで回を分け、それぞれの特性を活かして実践しました。講師が参加者目線でオリジナルテキストを作成し、丁寧な講座解説と、時間外にも個別相談にも応じてくれたので、参加者の感想も好評でした。

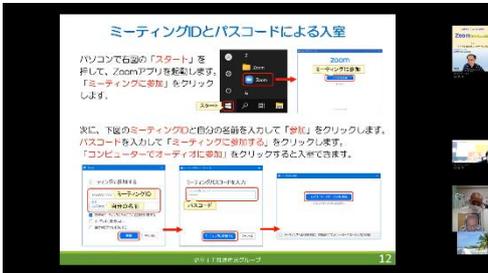


●第2回「ウェブ会議アプリ Zoom 初心者向け講座」

2021年7月24日（土）13:30～16:00 Zoomで実施 参加者23人

講師：佐藤清美さん（小平 IT 推進市民グループ）

昨年度実施した「基礎編」「応用編」計240分を1回講座（150分）に短縮してZoomで開催しました。事前にZoomアプリ導入支援日（2日間で3名参加）や接続テスト日



（2日間で計10名参加）を設け、参加者の理解が得られるように工夫したので、アンケートでは「理解できた」という回答が多かったです。昨年度の講座の際、定員オーバーで受講できなかった方々に声をかけ、参加した方もいました。

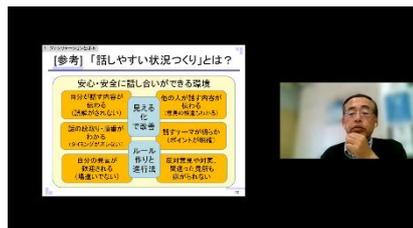


●第3回「オンラインでもできる「ファシリテーション」～自他を巻き込んだ話し合いの促進を学ぼう～」

11月13日(土)、20日(土) 13:30～15:30 (2回連続) 参加者 のべ22名

講師：向山聡さん(日本ファシリテーション協会、東京ファシリテーションクラブ・小平)

慣れないオンライン会議でも実践的な議論が進められるようになることを期待し、Zoomで2回連続講座として開催しました。講義を少なくし、参加型の時間を多く



したおかげでブレイクアウトルームでの活発な発言があり、アンケート結果から目的を達成できたとの感想をいただきました。



●第4回「NPO 会計・税務講座」

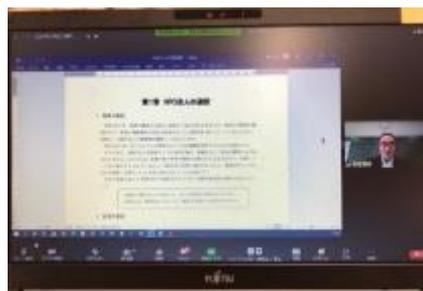
2022年

2月5日(土) 会計編1、12日(土) 会計編2、19日(土) 税務編 (3回連続)

いずれも 13:30～16:00 Zoomで実施 参加者のべ33名

講師：馬場利明さん(税理士、NPO 会計税務専門家ネットワーク理事)

3回にわたりオンラインで開催しました。平均参加者12名で、実際に会計を担当している方が多く、意欲溢れる講座でした。当初、対面での実施を企画しましたが、



コロナの感染拡大に伴い、全員 Zoomでの参加に変更しました。実際の財務諸表を作成しながら、講師の丁寧な講義と参加者からのチャットによる質問に答えるやり方で分かりやすく、参加者の感想も好評でした。



② 市民活動交流サロンの開催

●第1回「市民活動における「共に生きる社会」について考える～障がいのある人もない人も尊重し支え合う社会の実現～」

2021年9月5日（日）13:30～15:30 参加者 31名

会場：ルネこだいらレセプションホール、小平市社会福祉協議会、Zoom で実施

ゲストスピーカー：

- ① スポーツ&カルチャーフェスティバル in 小平実行委員会実行委員長 棚橋早苗さん
- ② 小平市社会福祉協議会こだいらボランティアセンター 矢板哲哉さん
- ③ NPO 法人ぐるーベリー愛犬ふぁみりー協会代表 佐々木邦夫さん

パラリンピック最終日に、ルネこだいらレセプションホールとあすびあ、ボランティアセンターを Zoom でつないで開催しました。ゲストのスポーツ&カルチャーフェスティ



ィバル in 小平実行委員長・棚橋さんからはパラリンピックの意義と価値について、こだいらボランティアセンター・矢板さんからは「こだいらあんしんネットワーク」について、ぐるーベリー愛犬ふぁみりー協会・佐々木さんからはセラピードック活動について紹介がありました。ルネこだいらに15名、Zoom で11名が参加、手話通訳や文字起こしを実施し、活発な意見交換が行われました。あすびあ以外の Wi-Fi 環境の無い場所と Zoom の参加者もつないでの初めてのイベントだったので、当日に向けて2度リハーサルを行いました。



●第2回「印象に残る市民活動の PR 動画について語り合う」

2021年10月23日（土）13:30～15:30 Zoom で実施 参加者 11名

ゲストスピーカー：

- 恵晋一さん（あすびあ市民活動パワーアップ講座「楽しいプレゼン動画を作ろう！」講師）
佐藤清美さん（元気村まつり実行委員担当）

今年の元気村まつりでは、参加 63 団体のうち7割の団体が動画で参加しました（昨年は5割）。ゲストから、今年の動画からいくつかを例にとって講評があり、皆で鑑賞



し、その完成度の高さに感嘆しました。その後、動画を作った参加者から、苦労や楽しさなどの経験談が話されたり、見たい人に届けるにはどうしたらいいかについてアイデアを出し合ったり、一方で技術的な情報交換も多くなされ、2時間があっという間のサロンでした。



●第3回「パパママ集まれ！～聞こう、話そう、コロナの中の子育て奮闘記～」

2021年12月11日（土）10:00～11:30

会場：元気村第二会議室およびZoomで実施 参加者15名 保育4名

ゲストスピーカー：

竹村雅弘さん（こだいら・こども・こそだてプラットフォーム代表、児童養護施設ソーシャルワーカー）

井上明子さん（NPO法人子育てサポートきらら代表理事）

コロナ禍で子育てを取り巻く状況が変わる中、実際に人と人が会って繋がりホッとする場を作りたいとの思いから、会場参加を主とした交流会を企画しました。子どもと親に関わる活動をしている二人のゲストから現状を伺い、参加者もじっくり話す時間を設けたので、終了後のアンケートでは満足した様子が見られました。



●第4回「どうやって解決してる？ 暮らしのちょっとした困りごと～支え合う地域づくりをめざして～」

2022年3月19日（土）13:30～15:30

会場：あすぴあ会議室およびZoomで実施 参加者21名

ゲストスピーカー：

- ① 林美奈子さん（小平団地自治会副代表）
- ② 柴田康晴さん（一般社団法人ひだまりの会代表）
- ③ 鈴木齋絵さん、安延正憲さん（小平地域包括支援センター中央センター職員）

介護保険を利用するまでもない、暮らしの中で生じるちょっとした困りごとを、支え合いやわずかな費用で解決する取り組みを、異なる立場の3者からお話を聴き、誰もが暮らしやすい社会について考える機会としました。途中の休憩時間には、会場に貼った小平市の地図に参加者の活動区域を付箋で示し、参加者・



ゲスト双方の理解が促進されました。後半の交流タイムでは、ゲストにも小グループに加わってもらい、同様の活動をしたいと詳しい話を聞く姿が見られました。あすぴあ会議室とZoomのハイブリッドでの実施や、視覚障がい者向け資料など、多岐にわたる準備が必要でした。



③ 元気村まつりウィーク 2021 の開催

フェスタ部会が核となり、参加団体と公募市民による実行委員会を組織し、
〈つづけよう！ 身近なつながり〉をテーマに、今年もオンラインで開催しました。

日時 10月23日（土）～ 30日（土）

場所 あすぴあホームページ特設サイトおよび Zoom

参加団体 63 団体

実行委員 18 名

〈実行委員会開催日程〉

6月12日、7月8日、8月7日、9月11日、9月29日、10月13日、11月30日 計7回



■主な実施内容

□小平市長挨拶および実行委員紹介の YouTube 動画を配信（あすぴあホームページ特設サイト）



ホームページ上の特設サイト



小平市の小林市長挨拶



実行委員の皆さん

□市民活動団体の活動状況を写真や動画で紹介（特設サイト）

□交流サロン「印象に残る市民活動 PR 動画」について語り合う（Zoom）10月23日（土）12 ページ参照

□大林素子さんトークショー「ふるさと小平とわたしー小平の魅力再発見」（Zoom）10月26日（火）



元気村は元小川東小学校、大林さんの母校ということで、当日は、あすぴあ会議室に来ていただいたのトークショーとなりました。小学校時代は、背が高いことでつらい経験も多かったようですが、小平二中に入ってからバレーボールに目覚め、高校卒業後、日立武蔵（当時、練習場所が一橋学園にあった）で厳しい練習を重ね、オリンピックのエース選手として活躍。その時代を振り返って、萩山から小平までのグリーンロードや玉川上水沿いをランニングした思い出などを話されました。引退後は、キャスター、解説者、芸能活動もしている大林さん。今後は地域貢献のNPOを立ち上げたいとも話されました。Zoomで参加したのは30名、大林さんの気さくな人柄に魅力を感じた楽しい時間でした。



大林素子さんのトークショー

□参加団体との交流会 (Zoom) 10月30日(土)

ソーシャル・エデュケーターの萩元さんは元小平市役所職員。公民館勤務時代に立ち上げた様々な市民活動に参加したという人が多く、計36名が参加し、地域の環境に配慮したまちづくり「サステナブルタウン」の提唱など今後の市民活動に役立つ多くの示唆をいただきました。

講演のあとは、オンライン上で位置を移動しておしゃべりができる「スペチャ」体験をしました。

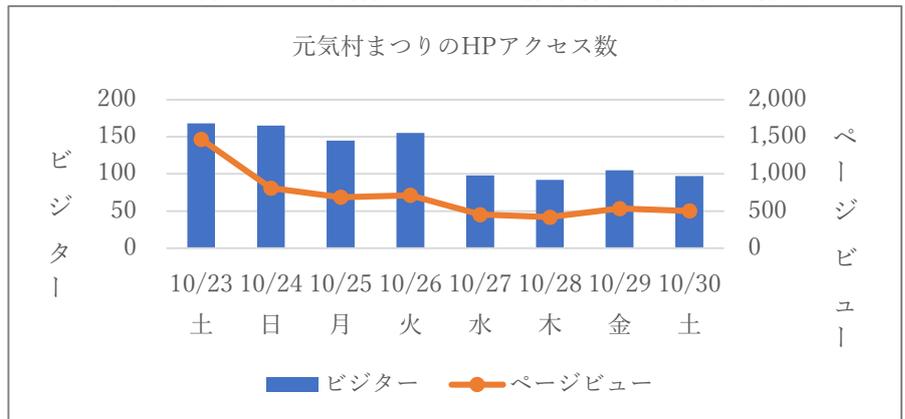


■今年度の成果

2021年度もコロナ禍により、実行委員会で検討を重ねてオンラインでの開催になりましたが、多くの市民活動団体が参加し、コロナ禍でも身近なつながりを持続しながら頑張っている状況を写真や動画で紹介しました。動画数は2020年より増えて43団体になり、動画時間は合計4時間近くになります。

また、ホームページの閲覧数は通常の2.2倍になり、たくさんの方々にオンラインで様々な市民活動の内容をじっくり見ていただくことができました。ウィーク終了後も、アーカイブで見ることができるようになっています。

また、今年は企業の社会貢献活動も市民活動団体と同じく参加可とし、ブリヂストンが参加しました。



■広報活動

- ・ チラシは、例年より多く6,000部用意し、自治会各班にも回覧しました。
- ・ ポスターは、にじバス車内に掲示してもらいました。
- ・ TOKYO0854 に出演し、元気村まつりをPRしました。



ほくほくラジオでPR



2. 市民活動の裾野の拡大事業 こだいら人財の森

この事業が本格稼働して3年目、今年度も、東京都の「人生100年時代セカンドライフ応援事業」補助金を活用して、事業説明会および落合恵子さんオンライン講演会を実施しました。企画および運営は、人財の森委員会*で検討しながら進めました。

*人財の森委員会：指定管理者の理事、センター長および職員、小平市市民協働・男女参画推進課職員で構成

■ こだいら人財の森事業説明会～地域デビューは楽しい～ 3月5日(土) 13:30～15:30

まん延防止等重点措置の中、感染防止対策に万全を期して事業説明会を開催。定員を超える応募・反響がありました。

第一部 事業説明会

人財の森に登録された個人・団体と人財の森専門員によるシンポジウム

《内容》

専門員から、登録の仕方や現在の登録状況などをパワーポイントとホームページを使って説明。個人の方には、どうして人財の森を知ったか、体験しようと思ったきっかけ、体験してどうだったか等について、また団体の方には、活動の目的、どんな方々が参加しているか、人財の森からの紹介の方は今何をされているか、今日説明会に参加している方へのアドバイスがあれば等を伺いました。はんなりした雰囲気の中、体験談はとても分かりやすく、楽しい会話に引き込まれました。



第二部 落合恵子さん講演 (参加者 82 名、うち一般参加者 63 名)

演題：“いのちの感受性……明日を拓く共生の時代”

落合恵子さんから、共生の時代に生きる私達に いのちの大切さを絵本を使い読み聞かされるように、じんわりと語り説かれた講演でした。



終了後、希望者向けに「こだいら人財の森」相談会を実施しました。(参加者数 35 名)

■ こだいら人財の森「きまり」の一部改訂

本事業は、個人に軸足を置いて活動団体と繋いできましたが、活動団体からは人材募集の要望が一番多くあるため、会員募集も可としました。

■ 体験の通年化

昨年度好評だった団体の活動を体験する企画を通年化し、イベント・カレンダー上で「体験可」と表示するようにしました。また、マッチングの面談時には一度体験される事を勧めています。

■ 今年度の実績 * () 内は3年間の累計数

個人登録数 8 件 (47)、団体登録数 5 件 (23)、マッチング成立数 1 件 (12)

3. 市民活動に関する情報の収集および提供

■あすぴあ通信

- ・広報部会は、コロナ禍でも極力対面中心で部会を開催して企画・取材・編集を行い、77～81号までの5号を毎回4000部発行しました。
- ・今年度は「あすぴあ通信を読んで」と相談に見えた方が複数いました。予期せぬ所で人は情報に接します。その接点を少しでも増やすべく、自治会の一部にも班回覧を始めました。その起爆剤になればと、80号では自治会の活動の特集しました。
- ・81号では、あすぴあの多くの事業が市民参加で成り立っていることを特集しました。実際に部会に関わっている方々の感想を集め、わかりやすく紹介したので、この内容は今後も多方面で活用できそうです。
- ・他市のセンターや行政担当部署にも送っていて、問合せがくることがあります。

あすぴあ通信 77号（2021年6月末発行）

- ・特集：体験してきました！ 「こだいら人財の森」
3カ月の体験期間（2020年11月1日～2021年1月31日）内に活動を体験した方の感想を紹介
- ・団体紹介：にじいろパズル、むさしの会、小平IT推進市民グループ
- ・あすぴあの書架から
『イドコロをつくる：乱世で正気を失わないための暮らし方』
- ・あすぴあ主催イベント 7月「ウェブ会議アプリ Zoom 初心者向け講座」の予告
- ・新たに増えた貸し出し備品を紹介。



あすぴあ通信 78号（2021年9月末発行）

- ・特集：元気村まつりウィーク 2021 期間内で行う Zoom イベントの予告
- ・団体紹介：NPO 法人ワーカーズ小平 JAM キッズ事業所ポップコーン、一般社団法人ひだまりの会、ウォーキング de ゴミひろい協会
- ・あすぴあの書架から『誰もが〈助かる〉まちづくりに織り込む防災・減災』
- ・あすぴあ主催イベント 11月「オンラインでもできるファシリテーション」の予告、終了イベントの報告
- ・Zoom アプリ導入支援会のお知らせ



あすぴあ通信 79号 (2020年11月末発行)

- ・特集：元気村まつりウィーク 2021 (報告)
ウィーク内に行った3つのイベントの報告と参加団体およびその参加方法の一覧
- ・あすぴあ主催イベント 12月サロン「パパママ集まれ！」および2月講座「NPO会計・税務講座」の予告
- ・終了したイベントの報告



あすぴあ通信 80号 (2022年1月末発行)

- ・特集：自治会「地域とつながると、活動も広がる」
3つの自治会の活動を具体的に紹介、地域連絡会が学園西町と東町で開催、自治会と自主防災組織と防災危機管理課の紹介など
- ・あすぴあの書架から『妊娠葛藤白書 にんしん SOS 東京の現場から 2015-2019』
- ・あすぴあ主催イベントの予告
2月「NPO会計・税務講座」、3月「人財の森事業説明会&落合恵子さん講演会」、交流サロン「どうやって解決してる？暮らしのちょっとした困りごと」
- ・終了したイベントの報告
- ・Zoom利用支援会のお知らせ



あすぴあ通信 81号 (2022年3月末発行)

- ・特集：市民参加で動くあすぴあ あなたも部会員になりませんか？
3つの部会に関わっている市民の声を紹介
- ・あすぴあ主催イベントの報告、「人財の森事業説明会&落合恵子さんオンライン講演会」の報告
- ・市民活動団体データ集『むすぶ』が変わりました
- ・元気村まつりのその後の話



* 「あすぴあ通信」は以下のところに配布しています。

市内公民館、市内地域センター、市内図書館、東部・西部出張所、市役所1階資料コーナー、地域振興部市民協働・男女参画推進課、国際交流協会、総合体育館、市内地域包括支援センター、小平市社会福祉協議会こだいらボランティアセンター、福社会館、昭和病院、健康センター、小平市医師会、歯科医師会、西武薬剤師会、民生委員・民生児童委員、市議会議員、市内大学、ルネこだいら、多摩信用金庫各支店、タウン通信、アサココ、都内のボランティア・市民活動支援センター&行政担当課(一部)、元気村館内、あすぴあ登録団体、情報希望の個人、一部自治会、等

■令和4年度版『市民活動団体一覧 むすぶ』

- 小平市には、たくさんの市民活動団体があります。「まちをよりよくしたい」「困っている人を助けたい」など、それぞれの目的に向かって多種多様な活動を繰り広げています。本冊子は、それら活動団体のすべてを網羅できているわけではありませんが、掲載を希望する団体は趣味のサークルまで幅広く受け入れているので、何かを始めたいと思った方に使っていただき、また団体にとっては、自分たちの活動を大勢の方々に知らせることができます。これによって多くの団体や人々がつながり、小平市の市民活動がより一層豊かになることを願って作っています。

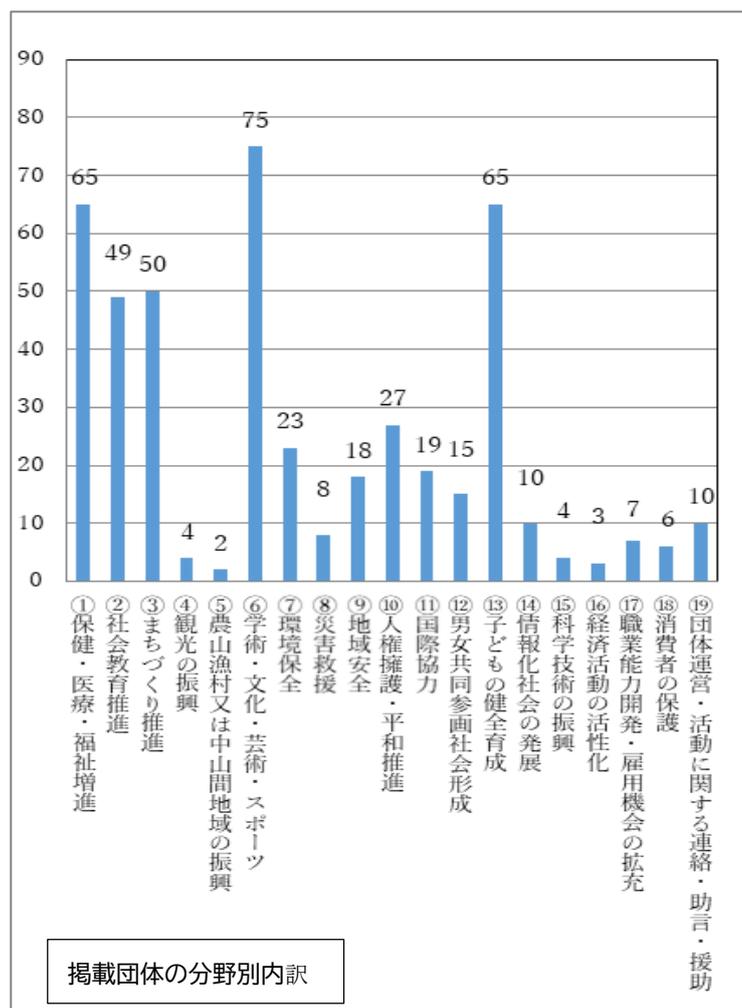


- 中央公民館主催のシルバー大学では、カリキュラムの一環である「地域活動リサーチ」で活用されています。
- 10月下旬から市報等で掲載情報の募集を開始しました。コロナの影響が現れているのか、昨年度より10団体減って掲載数216団体でした。そのうち新規掲載団体は3団体でした。

- これまで『むすぶ』は、冊子とあすぴあホームページの両方で同じ内容を掲載してきましたが、ホームページの利用が普及したことや、デジタル化の時代の流れに伴い、令和4年度版からホームページをメインにすることにしました。

- ただ、手にとって全体を一覧できる利点を残すため、「団体の名称・一行活動紹介文・連絡先、および参考資料」をまとめた索引的な簡易冊子『市民活動団体一覧 むすぶ』として形態を変えて発行しました。薄くなった分、今までよりも500部多い1,500部発行することができました。

- 冊子は、あすぴあ窓口のほか、市役所市民協働・男女参画推進課および1階市政資料コーナー、中央公民館、こだいらボランティアセンター、東部・西部出張所で希望者には無料で配布しています。また、公民館地区館や地域センター、図書館にも配布しているので閲覧が可能です。図書館では貸し出しもしています。



■市報掲載

- ・ 今年度もあすぴあ主催のイベントや各種募集等をタイムリーに掲載しました。
- ・ 4月5日号1面で市民活動の特集した効果は大きく、問合せが何件もありました。



発行号	掲載内容
4月5日号	市民活動特集（1面）、3事業部会員募集、運営サポート会議委員募集
4月20日号	元気村まつり実行委員募集
5月5日号	令和3年度版市民活動団体データ集『むすぶ』配布中
5月20日号	6月講座「楽しいプレゼン動画を作ろう」
7月5日号	7月講座「ウェブ会議アプリ Zoom 初心者向け講座」
8月20日号	元気村まつり開催および参加団体募集 9月交流サロン「市民活動における共に生きる社会について考える」
10月1日号	元気村まつり開催内容
10月20日号	11月講座「オンラインでもできるファシリテーション」
11月5日号	令和4年度版『むすぶ』情報募集
11月20日号	12月サロン「パパママ集まれ！」
12月5日号	Zoom 導入支援会1月
1月20日号	2月「NPO 会計・税務講座」
2月5日号	人財の森事業説明会および落合恵子オンライン講演会
2月20日号	3月利用者懇談会 3月交流サロン「どうやって解決してる？地域のちょっとした困りごと」

■メディアリリース

- ・ 地域のタウン紙（タウン通信、アサココ、広報たまちいき等）には、あすぴあ通信やイベントのチラシを定期的に届け、取り上げてもらいました。
- ・ TOKYO0854 に出演し、元気村まつりウィーク 2021 や、こだいら人財の森事業説明会&落合恵子さんオンライン講演会のPRをしました。

■ホームページの充実

- ・ 6月 ホームページの情報掲載域を左右に拡げ、より見やすく整えました。
- ・ イベントと連動したホームページのタイムリーな更新に務めました。
- ・ 元気村まつりウィーク 2021 では、トップページに特設サイトを作り、ホームページにアクセスした人に対してアピールしました。期間中のホームページアクセス数は15ページを参照してください。

■Facebook の活用

- ・ ホームページに連動させて随時アップするように努めました。
- ・ 元気村まつりウィーク 2021 の際は、10日前からカウントダウンとして毎日、分野ごとに参加団体名を紹介したり、期間中の Zoom イベントを予告して、興味を喚起することに務めました。
- ・ メールマガジンと同様、これもあすぴあの事業を周知する大事な広報媒体となっています。

■メールマガジンの発行

- ・ 毎月月末に、あすぴあからのお知らせや主催イベントの予告を中心に、助成金情報やその他の情報もピックアップして配信しました。末尾には職員が交代で執筆した「編集後記」を載せています。
- ・ メルマガ登録数は、あすぴあ利用登録団体のほか、職員や指定管理者理事と名刺交換をした方々、イベント参加者等々を随時加えて増加しています。
- ・ 各イベント終了後のアンケートでも、イベントを知った媒体としてチラシやポスターと並んで、メールマガジンが大事な広報媒体のひとつになっていることがわかります。

■チラシ&ポスター等の情報提供

- ・ あすぴあには、市内や都内のみならず他県からもメールや郵送で情報が届きます。昨年度は、持ち込まれるチラシやポスターが激減しましたが、今年度はコロナ前とほぼ同じ状況まで復活しました。
- ・ あまり広くはないスペースを最大限活用してより多くの情報を提供し、期限の過ぎたものは1部を保存して、常に新しい情報を提供するように努めました。保存チラシは、市内のものは団体別に、市外からの情報は行政区ごとに仕分けてファイリングし、閲覧に供しています。
- ・ 廊下にも掲示板やチラシラックを設け、休館日にも手に取ることができるようにしています。



■補助金・助成金等の情報収集・提供

- ・ センターには、チラシやメール等でさまざまな助成金情報が送られてきます。館内に配架するほか、月末のメールマガジンでまとめて情報を配信すると同時に、ホームページ上にも掲載ならびに更新し、該当する団体にも情報を随時提供しています。
- ・ 自治会連合会からの相談に応じて「さわやか福祉財団」の助成金を紹介したところ、無事に採択されて防災訓練を行うことができたとのことです。

■閲覧用図書・資料の整備

今年度新たに増えた書籍や雑誌は以下です。

〈書籍〉

- 『イドコロをつくる 乱世で正気を失わないための暮らし方』伊藤洋志著
- 『誰もが〈助かる〉社会 まちづくりに織り込む防災・減災』渥美公秀/石塚裕子編
- 『妊娠葛藤白書』にんしんSOS東京の現場から 2015～2019』NPO法人ピッコラーレ発行
- 『地域とゆるくつながろう！～サードプレイスと関係人口の時代～』石山恒貴著
- 『協同で仕事をおこす-社会を変える生き方・働き方-』広井良典編著/日本労働者協同組合（ワーカーズコープ連合会監修）
- 『コミュニティマネジメントの教科書』呉哲煥著 2020年CRファクトリー発行
- 『やさしくわかる公務員のためのSNS活用教科書』佐久間智之・著

〈雑誌（定期購読）〉

- 『ウォロ』 社会福祉法人大阪ボランティア協会 発行
- 『ネットワーク』 東京ボランティア・市民活動センター 発行

*詳細およびこれ以外の蔵書については、あすぴあのホームページをご覧ください。

■出張広報アクション

あすぴあの認知度を上げるために計3回実施しました。

@市役所 2021年10月4日(月)～8日(金)

- 10月の元気村まつりウィーク2021、こだいら人財の森事業の宣伝のため、市役所1階ロビーにブースを構え、職員と理事有志が周知活動を行いました。
- シール式アンケートの結果を見ると、あすぴあのイベントには参加していませんが、地域への活動に関心がある人や社会の役に立ちたいと思っている人が多いことがわかり、今後も様々な手段であすぴあの事業を周知していく必要性を感じました。



質問	はい	いいえ
あすぴあのイベントに参加したことがありますか？	5	19
地域で何か活動したい、社会の役に立ちたいと思いますか？	26	1
こだいら人財の森事業は、地域で何かしたい、社会の役に立ちたい、地域とつながりたい人と市民活動団体をつなぐ事業です。興味がありますか？	21	2

@東部出張所 2022年3月30日(水) 10:00～12:00

@西部出張所&小川西町公民館 2022年3月31日(木) 14:00～16:00

また、小平市の中心地以外の状況を掴むために、春休み期間に東西の各出張所でも実施しました。東部出張所は、ここ数年、若い世代が増えている地域ですので、今後はイベント開催もそれを意識していく必要がありそうです。



■その他

- 交流スペースでは、小平市のことが取り上げられた新聞やタウン誌の記事を「こだいらニュースピックアップコーナー」として紹介しました。

4. 問合せ・相談・支援

総数 85 件 … 受付方法：窓口 38 件、電話 31 件、その他（メール）16 件

分類：相談 52 件、問い合わせ 32 件、その他 1 件

内容内訳 *（ ）は昨年度の数

コロナ関連 1 件(8)、Zoom 支援 11 件（18）、福祉系 20 件(6)、助成金 5 件（4）、
団体立ち上げ 5 件(11)、パソコン一般 1 件(8)、人財の森 3 件(3)、会計 0 件(2)、
過去イベント 3 件（2）、その他 36 件（14）

- ・ 問合せや相談の内容は多岐に亘り、すぐ回答できるもの、日時を指定して来所してもらい対応するもの他、何度かやりとりが続くものもあります。
- ・ 4 月 5 日号 1 面で市民活動の特集を組んだところ、その後何件も問合せがありました。
- ・ 今年度は、去年多かった Zoom 関連の相談や支援は減りましたが、特徴的なことは、障がいや高齢などの福祉的要素が絡む相談が個人や市役所の様々な部署から寄せられたことでした。どこに相談したらいいのかわからず、何かで「支援センター」の名称を見つけて電話してくる方や、市役所の様々な課から紹介されて電話してくる方もいました。直接に市民活動の範疇ではないものも、職員が持っている情報の引き出しをフル活用し、時には、元気村の他の施設職員の助けを借りて、相談者が明るい先行きが見えて次の一步を踏み出せるように心がけて対応しました。複合施設である元気村内のありがたさを感じた 1 年でした。
- ・ 自治会連合会から防災訓練のための助成金の相談を受け紹介したところ、採択されて無事に訓練が実施できたようでした。
- ・ 内容内訳の「その他」が今年はとても多いですが、これは去年と比較するために分類を去年と同じにしたことで、該当しない内容が多かったためです。具体的には、団体の活動に関する問合せが多い状況でした。
- ・ 協力
 - ▼ 東京ホームタウン大学院地域 Web メディアグループから公開インタビュープロジェクト「こだいらローカルプレイヤーズトーク」に協力依頼がありました。あすぴあその他、登録団体から「小平 IT 推進市民グループ」「視覚障がい者パソコン教室」が Zoom で公開インタビューを受けました。また、小平で最近注目されている地域の活動を紹介しました。
 - ▼ 嘉悦大学より「ど根性カエツプロジェクト～地口行灯でギネス世界記録に挑戦～」に協力依頼があり、12 月 18 日にあすぴあ会議室で 20 人が集まって撮影に協力しました。最終的には 292 人のビデオチェーンが完成し、正式申請して待つこと 3 ヶ月、4 月上旬に無事にギネス世界記録に認定されたと報告がありました。

5. 利用者の要望・意見の把握

① 運営サポート会議

- ・ センターの管理・運営を公平適正に行うために、公募市民、登録団体、有識者等で構成される会議を設け、幅広く意見を聴取する場を年3回（7月、11月、3月）夜間の時間帯に開催しています。今年度は3回ともミーティングオウルを使ってハイブリッドで開催しました。
- ・ 構成メンバーは、あすぴあ登録団体から4名、公募市民2名、学識経験者1名、地域2名、社会福祉協議会1名、センター関係者（指定管理者理事含む）5名、市民協働3名でした。
- ・ 第1回目では、昨年度の事業概要を報告したのち、今年度の事業計画を説明しました。今年度から参加する方3名を中心に自己紹介がメインの回でしたが、「若い人たちもオンラインなら参加しやすい」「コロナで在宅勤務になり、地域にいる時間が増えているので地元が目が向いて活動への参加につながる」といった意見がありました。
- ・ 第2回目では、上半期の報告と下半期の事業予定について説明した後、終了したばかりの「元気村まつりウィーク 2021」について意見交換しました。「他の市の同じようなイベントとオンラインで連携できたらいい」「来年リアル開催ができるようになって、オンラインの形を残せたらいい」等の意見がありました。
- ・ 第3回目では、1年間の事業と利用者アンケート結果を報告した後、意見交換の時間では、若い世代との関わり方について活発な意見交換が行われました。

② 利用者アンケート

【実施期間】 2022年1月20日（木）～2月6日（日）

【実施方法】

（1）電子媒体

- ・ 利用登録団体にメール送信（メールの無い団体には郵送）
- ・ 個人（メルマガ購読者、人財の森個人登録者、今年度のイベント参加者）にメール送信
- ・ ホームページに掲載
- ・ Facebook、メールマガジンでお知らせ

（2）紙媒体

- ・ 公共施設（公民館、地域センター、福社会館）へ配架
- ・ 会議室利用時に配布
- ・ 交流スペースに配置
- ・ 元気村館内施設に配布

【回収】 98件（Google アンケートフォーム 35件、アンケート用紙 63件）

【アンケート項目】

- （1）回答者の属性（住まい、年代）
- （2）この1年間の利用回数
- （3）この1年間の利用状況（施設、機材、情報、イベント、人財の森、相談など）
- （4）全体的な満足度
- （5）コロナ禍でのあすぴあの対応について意見
- （6）対面での活動について要望
- （7）その他、気づいた点、各事業への意見等

*アンケート項目の前年度との変更について

- ① 「この1年間の利用回数」に、選択肢として「使用したことがない」自由記述として「どうだったら利用したいか」を加えました。

目的 ・あすぴあに利用団体登録をする上でどんな支障があるかを調査する。
 ・あすぴあを利用したことがない人にも事業の全体を知ってもらう。

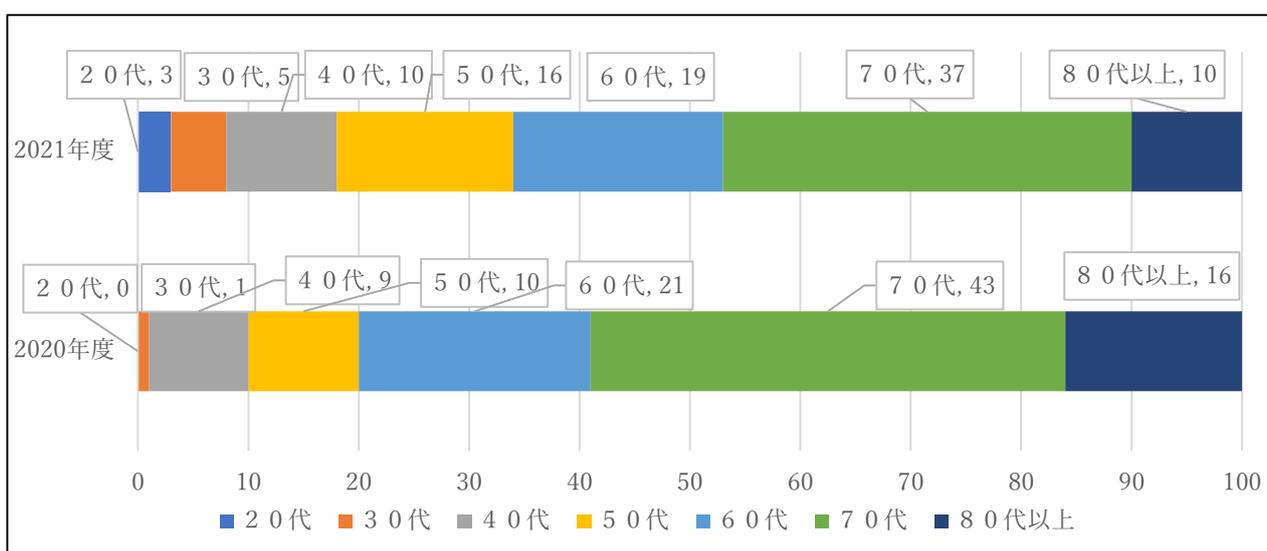
- ② 「対面での活動についての要望」を新設しました。

目的 コロナ禍が2年以上になり、当初とは異なる要望が生じているのかを調査する。

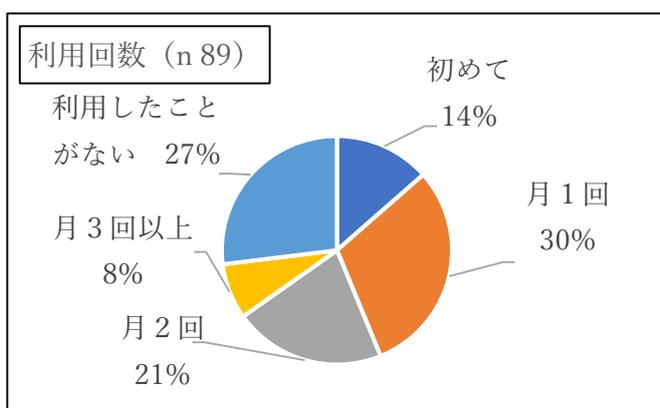
【結果概要】

(1) 回答者の年代

昨年度と比較すると、20-50代が増え、60代以上が減りました。コロナ感染が比較的沈静化した夏以降、若い世代の団体が会議室を利用するようになりましたが、年配の方々の団体は、まだ活動の回数を減らしていたり全く動きがみられなかったりしていますので、それらも少し反映されていると思われます。



(2) この1年間の利用回数



▼「利用したことがない」人(27%)のうち、「過去に1度もあすぴあを利用したことがない」人は5人、その理由は「周りに利用している人がいれば利用しやすい」「仕事と子育てで縁がなかった」「特に必要ない」等でしたので、このアンケートがきっかけであすぴあを認識してくれたことになります。

▼「利用したことがない」残りの人は、次の設問「利用したもの」への回答から、「コロナ禍のため

この1年間は利用していないが、それ以前は利用していた」または「あすぴあには来なかったが、自宅で情報を得たりZoomイベントに参加した」ことがわかりました。

(3) この1年間の利用状況(施設、機材、情報、イベント、人財の森、相談など)

▼施設: コロナ以前はドリンクコーナーがあるおかげで交流スペースの人の出入りが多かったのですが、利用制限が続いているため、未だ元のような賑わいは戻ってきていません。

▼機材: オンライン用に昨年度導入した大型モニターやミーティングオウルは、使い方講習会をした後よく利用されています。

▼情報: 去年に比べてホームページの利用が多く、またあすぴあから登録団体に随時お送りしているメールも意外に多く利用されていました。これもコロナで集まれないことの影響でしょう。

▼イベント: アンケート回答者の中では元気村まつりに参加した人が多かったです。

▼人財の森: あすぴあの利用登録団体が利用できるイベント・カレンダーは、コロナ禍でイベントが少なかったこと、この存在や使い方の普及啓発が十分ではなかったため、利用が低迷しました。今後は一層周知に努めていきます。

(4) 全体的な満足度

「施設の利用方法、施設の使いやすさ、施設の開館日・開館時間の設定、スタッフの対応、利用目的の達成度、全体の満足度」すべての項目について、満足度合が昨年度より高くなりました。特に、他の項目には回答していないのに、「スタッフの対応」項目だけに「満足」と回答してくださった方が複数あり、日頃の職員への対応や接遇を高く評価していただいていることは大変うれしく思います。

(5) コロナ禍でのあすぴあの対応についての意見

コロナ禍が丸2年も過ぎた中で、あすぴあがやってきたことはある程度評価されていることがわかりました。

(6) 対面での活動についての要望

やはり対面の活動を望む声が多く聞かれました。3密を避けるために使い始めたオンラインツール Zoom ですが、人間関係の構築にはやはり直接会って話し合うことが欠かせないこともハッキリわかったこの2年間でした。これからは、オンライン/対面どちらか一方だけでなく、皆と一緒に感染対策をしながら集い、且つオンラインも併用すると活動の幅が広がると思います。

(7) その他、気づいた点、各事業への意見等

施設の活用に関するヒントをいただき、さっそく実践しています(会議室にも団体のチラシを置く等)。そのほか、いただいたご意見は、今後の事業企画の際に検討していきます。

*詳細は、ホームページで「2021年度利用者アンケート結果報告」をご覧ください。

③利用者懇談会

日時：2022年3月26日（土）13：30～15：00

場所：あすぴあ会議室と Zoom とのハイブリッド式で実施

参加者：一般参加者 5 名、指定管理者理事 1 名、イベント部会員 1 名、
センター職員 1 名、センター長 (Zoom 3 名、会場 6 名)

・ Zoom 参加者には事前に資料をメールで送り、当日は事業報告概要版に基づいて 1 年間の流れを説明するとともに、利用者アンケートの結果を報告しました。

・ その後の交流タイムでは、それぞれの活動紹介や今後への要望をいただきました。

6. 他機関・施設・組織との情報交換やネットワークづくり

① 防災・危機管理活動

◇ 消防訓練

- ・ 10 月には、元気村全体での消防訓練に職員と理事計 2 名が参加しました。
- ・ 自衛消防訓練については、コロナ感染拡大防止の観点から、集合して実施する代わりに、東京消防庁 HP 上の「ネットで自衛消防訓練」を使い、3月に職員各自で訓練を行いました。

◇ 館内連絡会

- ・ 元気村第一会議室および多目的ホールに「たいよう福祉センター」が臨時移転してきたことにより、今年度いっぱい駐車場の使用制限が生じ、あすぴあを利用する方々にも周知しました。
- ・ コロナ禍で 1 年半開催していなかった対面での連絡会を 11 月から再開しました。

② 地域連携活動

◇ AKVS(地域福祉活動および市民活動の中間支援に関する情報連絡会)

- ・ 市民活動の中間支援をする組織であるあすぴあ (A)、中央公民館 (K)、社会福祉協議会こだいらボランティアセンター (V)、市民協働 (S) が集まって情報交換をしています。今年度は 9 月に開催し、コロナ禍でのそれぞれの取り組みについて情報交換しました。

◇ 自治会・町会等

- ・ 12 月および 2 月に、学園西町地区地域連絡会および学園東町地区地域連絡会に参加しました。
- ・ 市内全域の自治会を対象に行われる自治会地域懇談会が 7 月と 1 月に行われ、あすぴあも出席しました。1 月の回では、地域コミュニティ課から意見交換のテーマの相談を受け、6 回のうち 3 回については当日の意見交換の進行も担いました。
- ・ 自治会連合会から防災訓練の実施に使えるような助成金の問合せを受けて紹介したところ、見事採択され、無事に防災訓練が行われたようでした。
- ・ 今年度から、自治会の一部にも班回覧用にあすぴあ通信を届け始めました。また、「あすぴあ通信 80 号」では特集で「自治会」を取り上げました。1 月には、Zoom 利用支援会のお知らせも全班に回覧しました。

◇ 中央公民館事業企画委員会

- ・ 中央公民館を利用している市民やさまざまな団体・所属の方々および職員約 20 名と共に、中央公民館の翌年度の講座企画を検討する会合で、4 月から 9 月まで毎月 1 回、会場参加と Zoom 参加を併用して行いました。
- ・ 企画内容は個人対象の社会教育的なものが中心ですが、講座が終了したあとサークルになり、運営していく過程でいろいろな課題が生じるため、あすぴあの各種講座や、団体同士の交流の場である交流サロンなどがあることをアピールしています。
- ・ また、テーマによっては、市内の市民活動団体を講師として紹介しています。
- ・ この企画委員会は、あすぴあが行っている市民参加とは違った形で市民の経験・知識・意見を吸い上げて企画を練り上げて形にしていくので、あすぴあにとって参考にできるものがあります。

◇ 忘れない 3.11 展

- ・ 昨年度に続き、感染防止対策を十分に整えて、3 月 8 日（火）～13 日（日）に実施しました。
- ・ あすぴあからは、全国で実施されている 3.11 関連のイベント情報を展示紹介しました。「東日本大震災を忘れてはいけない」という同じ思いを持つ仲間が全国にいることで勇気をもらえると同時に、他所での活動から何がしかのヒントを貰えるようにと思っています。
- ・ 期間中の来場者数は約 1100 名（このうち、企画参加者は 280 名強）でした。また、昨年できなかったドキュメンタリー映画『星に語りて』を視聴覚室で連日上映しました。「知らないことがたくさんあった」「毎年開催してほしい」「学校の子どもたちにも伝えてほしい」「長年小平に住んでいたが初めて来た」等という声が寄せられていました。



◇ 市民協働主催事業への協力・出席

- ・ 提示型公募事業や、大学連携協議会主催「まちで楽しむ」および NPO 体験セミナー等の広報に協力しました。
- ・ 2022 年 2 月 協働の推進に関する市職員向け研修に、あすぴあから 2 名が傍聴参加しました。

7. 市外の諸機関との情報交換・交流

・ 東京ボランティア・市民活動センター

- ・ センター長会議 4 回、事務局会議 3 回の計 7 回開催され、他センターと交流しました。
- ・ 9 月には拡大会議として、センターの運営に関わっている人は誰でも参加できる会があり、あすぴあ運営会議メンバーも 1 名参加しました。

・ 7 市・市民活動情報連絡会

- ・ 八王子、日野、三鷹、西東京、府中、調布、小平の 7 市の間支援組織が集まって半年に 1 回程度開いているもので、センター回り持ちで幹事を行っています。
- ・ コロナ禍で延び延びになっていた八王子が幹事の回が、前年度 3 月と、追加で今年度 6 月にも行われました。
- ・ そして次が小平が幹事となり、2022 年 1 月 13 日に Zoom で行いました。小平から 6

名、全体で 17 名集まりました。意見交換のテーマを「市民活動フェスティバル的大イベントの運営について」とし、事前に各市からアンケート回答をもらって、当日更に詳しく情報交換しました。各市それぞれ特徴ある取り組みをしていて、大いに参考になりました。他にも、事業計画の振り返りや人材バンク的取り組みについても情報交換しました。

・10 年前に小平からの声掛けで始まったこの会合が、ちょうど小平に戻ってきたのを機に、今までの経緯を一覧表にまとめました。

8. 施設見学の受け入れ等

① 施設見学

コロナの感染拡大状況が一旦落ち着きを見せた 7 月、中央公民館シルバー大学第 51 期生 20 名が見学に来所しました。あすぴあの施設内覧と共に、人財の森事業の説明に重点を置き、シルバー大学 0B から、現在関わっているイベント部会や「連」編集作業などの活動を話してもらいました。

② 大学生のインターンシップ

今年度も 8 月に大学 1 年生 1 名を受け入れました。午前中だけの短い時間でしたが、センターの成り立ちを説明、「あすぴあ通信」等の発行物を読んだり昨年度の元気村まつりの団体紹介をホームページで視聴した他、元気村まつりに関するチラシの印刷やセンターに届くチラシの配架等の作業をしてもらいました。

9. 職員・理事・事業部会員の市民活動支援力の向上

① 職員研修

・内部研修

- 4 月 19 日（月） 職員の入職に伴う顔合わせとオリエンテーション
- 5 月 30 日（日） オンライン機器の使い方と貸し出しに関する窓口業務について
- 2022 年 2 月 23 日（祝） 今年度の事業計画の振り返り

・外部研修

- 12 月 15 日（水） 東京ボランティア・市民活動センター主催「地域に根ざす中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾」に Zoom で参加
- 2022 年 2 月 13 日（日） 「市民社会をつくるボランティア・フォーラム TOKYO2022」分科会「市民活動の引き継ぎ方を考える」に参加

② あすぴあ勉強会

コロナ禍のため、集まったの勉強会は実施できませんでした。

10. 登録団体一覧

あすぴあ登録団体一覧表			
登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
1	H22		視覚障害者パソコン教室
3	H22		小平市けやきの会
4	H22		パソコン徒然草の会
5	H22	特定非営利活動法人	小平シニアネットクラブ
7	H22		はじめてのパソコンサークル
11	H22		小平図書館友の会
13	H22	社会福祉法人	地域生活支援センターあさやけ
18	H22	特定非営利活動法人	小平こども劇場
19	H22		こだいら市民提言の会
21	H22	特定非営利活動法人	匠リニューアル技術支援協会
22	H22	特定非営利活動法人	PIANT A TREE PLANT LOVE
23	H22		政治・知りたい、確かめ隊
26	H22		右脳いきいきクラブ
27	H22	特定非営利活動法人	ふれあいアカデミー
29	H22		インドな人口問題を考える会
31	H22		小平ターゲット・バードゴルフ協会
32	H22		うたごえ in 元気村
33	H22		ボーイスカウト小平第二団
34	H22		小平市女性のつどい
35	H22		たまの音楽家
36	H22		いきいき93
37	H22		精神保健福祉ボランティアの会 ひだまり
39	H22		こだいらDV防止ネットワーク
40	H22		萩山・小川団地九条の会
44	H22	特定非営利活動法人	ACTたすけあいワーカーズ小平らいふえいど
45	H22		小平IT推進市民グループ
46	H22	特定非営利活動法人	アトリエ・パンセ
47	H22		ボーイスカウト小平第一団
48	H22		ガールスカウト東京都第176団
50	H22		小平少年少女青空学校
52	H22		小平市障害者団体連絡会
53	H22	社会福祉法人	つむぎ おだまき
54	H22		合唱団「みらい」

55	H22		小平市自治基本条例市民の集い
56	H23		パソコン復習塾
57	H23		自転車スイスイ
60	H23		K. K. メンネルコール
62	H23	特定非営利活動法人	こども未来研究所 こあっぽあーと・あるあーと
65	H23		ダンスパフォーマンス集団 迫-HAKU-
66	H23		小平おもちゃの病院
70	H23	公益社団法人	小平市シルバー人材センター
72	H23	特定非営利活動法人	こだいら自由遊びの会
73	H23		国立精神・神経医療研究センター病院家族会「むさしの会」
74	H23	特定非営利活動法人	ラスキア
75	H23		市民プラザこだいら
77	H23	特定非営利活動法人	ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会
80	H23		小平朗読教室「ひびき」
82	H24	認定特定非営利活動法人	だれもがともに小平ネットワーク
87	H24	特定非営利活動法人	小平市民活動ネットワーク
89	H24		小平ユネスコ協会
90	H24		小平リカバリーフラッグ
91	H24		熟年いきいき会
92	H24		音の会
93	H24		こだいら平和コンサート・合唱団どれみ
94	H24		グリーン研究会
95	H24		小平要約筆記サークル「ほおずき」
99	H24	特定非営利活動法人	こだいらソーラー
101	H24		小平都市計画道路に住民の意志を反映させる会
107	H25		アロマサロン
109	H25	特定非営利活動法人	子育てサポートきらら
110	H25		学び舎江戸東京ユネスコクラブ
111	H25		やすらぎコンサート Sana (さ～な)
112	H25		安心・安全ウォークネット壘
114	H25		親業でグッドコミュニケーション ラ・ピース
115	H25		プアナ・ティアレ
116	H25	一般社団法人	相続後見シニアサポート多摩
117	H25		点字の会「てんとう虫」
120	H26		日本太極柔力球小平支部
121	H26		さよなら原発 オール小平をめざす会
122	H26	特定非営利活動法人	こども未来ラボ

123	H26		小平市身体障害者協会
127	H26		小平はぐくみプロジェクト
129	H26		小平市脳卒中患者友の会
132	H26		災害ボランティア未来
133	H26		苔玉会
135	H26		こだいら国際協力プロジェクト Seed
136	H26		3. 11等に学ぶ小平の減災を考える会
137	H27		小平井戸の会
143	H27		憲法カフェ@なかまちテラス
144	H27		中央大学小平白門会
145	H27		コーダー道場こだいら
147	H27		ごはん&小麦の幸せ時間
148	H27		ここぷらっと～こだいら・こども・こそだてプラットフォーム～
151	H28		小平市民まちづくり互助会
153	H28		小平市テニス協会
156	H29		小川体操
158	H29		LPG
159	H29	特定非営利活動法人	終活支援センター 桐中会 小平事務所
160	H29		シルバー大学第30期OB会
163	H30		小平シャイニング
166	H30		コミュニティ・サロンほっとスペースさつき
167	H30		みんなでつくる音楽祭 in 小平 実行委員会
168	H31		藍なり
169	H31		Comi Cafe
170	R1		小平・ワーカーズまちの縁がわ ちっちゃいおうち
171	R1		マジックむさし会
172	R1		小平・環境の会
173	R1		昔あそび応援団
174	R1		平和と未来のひろば・小平実行委員会
175	R1		鈴の会
176	R1		ここ・ちあーず
177	R1		小平スポーツ&カルチャーコミッション
178	R1		東京ファシリテーションクラブ小平
179	R1		多胎児サークルこだついでん
180	R1	一般社団法人	小平青年会議所
181	R1		iPhoneを楽しむ会
182	R1		にじいろパズル

183	R1	認定特定非営利活動法人	コミュニティケアリンク東京
184	R1		高齢者社交ダンス虹の会 社交ダンス普及会
185	R1	一般社団法人	こだいら観光まちづくり協会
186	R1		ヒッポファミリークラブ萩山
187	R2	一般社団法人	こみゆと小平
188	R2		HP ブログサークル
189	R2		津田塾大学インクルーシブ教育支援室
190	R2		こだフォト部
191	R2		むさしの会
192	R2		小平ユネスコ協会水曜
193	R3		虹の会
194	R3		ウォーキング de ゴミひろい協会
195	R3	一般社団法人	ひだまりの会
196	R3		ワーカーズコープ小平 JAM キッズ事業所
197	R3		少年少女キャンプ村
198	R3		ミュージアム de 散歩
199	R3	一般社団法人	早期親子支援 GROW
200	R3	特定非営利活動法人	My style@
201	R3		小平東圏域オレンジの会
202	R3		IT サポートサークル小平
令和3年度末 あすぴあ登録団体数 127			

1 1. 経費の収支状況

令和3年度経費収支状況		単位：円
	令和3年度実績	内訳
収入合計	15,516,679	
1 指定管理料	15,416,220	
2 雑収入	100,459	印刷機・コピー機・プリンター使用料
経費合計	16,818,456	
1 人件費	10,575,845	常駐スタッフ昼間2名、夜間1名、センター長の給与手当等
2 事務費	40,964	文房具、用紙、カラープリンターインク
3 管理費*	3,978,571	印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、消耗什器備品費、 コピー機・パソコン等賃借料、保険料、諸謝金、支払手数料、 雑費、一般管理費、租税公課（消費税等）
4 事業費	2,223,076	市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロン、NPOフェスタ、閲覧用図書、あすぴあ通信、むすぶ、こだいら人財の森等

